

常任委員会の審査から

12月7日、8日に各常任委員会に付託された議案の審査が行われました。

委員会での主な審査内容を各常任委員長が要約しています。

総務・水道

第5次吉川市総合振興計画

【基本構想】

今後10年間は、子ども、少子化、高齢者等大きな課題がある。組織改編の考えは。

子どもや少子化は、前期基本計画の重点テーマとして掲げ重要性は認識しています。組織改編は、庁内会議で検討をしました。子ども課などの考えも出されたが、国、県との関係などを考慮し断念した経緯があります。今後は、必要に応じて検討します。

どのようなまちづくりを進めていくのかわかりにくい。市のアンケートでは、「住みよい」が8割を超えるが他の自治体と比較しても珍しい例である。市民の意見が活かされているとは言い難い。職員の意識改革を進めるべきでは。

今回の総合振興計画の策定では、無作為抽出による市民参加の市民討議会の開催など多くの意見をいただき策定には、人の存在、育成、活動の場、しくみ等の視点を

持つて検討しました。

重要度、満足度をどう意識しているか。市民バスの要望があるが。

満足度、重要度は、事務事業に成果指標を設定して評価し、満足度の向上に取り組んでいます。公共交通は、路線バスを基本に考え対応が困難な場合は、福祉施策で対応する等事業間の連携を図ります。

産業まちづくり地域は、市民要望の位置付けとは考えにくい、位置づけの理由は。

三輪野江地域は、スマートインター、三輪野江バイパス、榎戸地域は東埼玉道路の吉川ランプ等周辺状況が大幅に変化することを想定、考慮しています。

賛成多数で可決
一般会計補正予算

個人市民税の税額の推移と、法人市民税の補正内容は。平成23年11月現在、10万7千円、22年度では、10万9千円、21年度は、11万8千円と年々減少しています。

法人市民税は、業績持ち直しで、増額予算計上です。

賛成全員で可決

視察レポート

茨城県つくば市・福島県会津若松市

10月17日～18日

総務水道、文教福祉、建設生活常任委員会と議会運営委員会の合同行政視察を実施しました。

17日に訪問したつくば市では、新庁舎建設についての視察を行いました。当市では、東日本大震災をきっかけに「庁舎建設等検討委員会」が設置されることとなっており、平成22年5月に新庁舎（地上7階）が建設されたつくば市の新庁舎建設に関する経緯等を伺いました。つくば市では庁舎建設審議会を設置し、三千人の市民を対象にアンケートを行う等、市民の声を積

極的に取り入れていました。



給食センター（会津若松市）

18日に訪問した会津若松市では、議会基本条例の制定と給食センターの運営について視察しました。議会基本条例については近年、各自治体で制定の動きが強まっており、会津若松市での制定までの経緯や議会基本条例の概要、制定後の成果や課題等についてお話を伺いました。

また、同市では、平成21年に学校給食センターを建設、供用を開始していただき視察させていただきました。



議場（つくば市）